

## ルワンダ月報（2025年7月）

※以下は、ルワンダ主要メディア（RNA、The New Times等）の記事取りまとめ。

### 1. 政治・外交

今月のカガメ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 1日、キガリで開催されたアフリカ原子力エネルギー・イノベーション・サミットに参加したグロッシーIAEA事務局長及びゼイン・ニジェール首相と会談。
- 4日、解放記念日祝賀レセプション出席。国民に対し、尊厳ある死を迎えるためにも自国を守る必要性を説き、さもなければ他者の言いなりになって屈辱の死を遂げるだろうとスピーチにて発言。
- 11日、コンゴ（民）東部情勢を巡り、ケニヤッタ元ケニア大統領（EAC-SADCプロセスの一員）と会談し、アフリカ主導の和平について協議。
- 18日、リオティント社（Rio Tint, 英国鉱業会社）代表団と、ルワンダ政府との合弁事業及び鉱業分野における協力について協議。なお、本協議に先立ち、10日、アテリアンPLC社（Aterian PLC, 英国鉱業会社）は、リオティント社との共同調査の結果、ルワンダに高品質のリチウム鉱床が存在することが判明したと発表。

外交及び内政に関し、

- 14日、トルクメニスタンとの外交関係樹立。両国は、トルクメニスタンで今年開催される第3回国連内陸開発国会議（LLDC）への積極的な参加など、国連の枠組みの中で緊密に協力することを確認。
- 19日、コンゴ（民）東部情勢を巡り、コンゴ（民）政府とAFC/M23との間で「原則宣言」が署名されたことを受け、同日、外務・国際協力省は、同署名を「歓迎する」旨のステートメントを発表。
- 23日、カガメ大統領は、ンギレンへ首相の後任として、ルワンダ中央銀行の副総裁を務めていたンセンギユンバ氏を新首相に任命。
- 24日、ンセンギユンバ新首相の任命を受け、新内閣が組閣され、ハビマナ氏（前職：ルワンダ地方自治体協会事務局長）が地方自治大臣、アラクウィエ氏（前職：世界資源研究所勤務）が環境大臣、ウィハンガニエ氏（前職：駐シンガポール・豪州・ニュージーランド大使）がインフラ担当国務大臣、ンダバメニエ氏（前職：ルワンダ農業・同動物資源開発局（RAB）事務局長）が農業・動物資源管理担当国務大臣にそれぞれ就任。

開発協力に関し、

- 世界銀行は、キガリ市内の大規模バスターミナル整備、電気バス導入、充電スタンド設置等の都市交通改善を目的とした1億米ドルの融資を決定。
- アフリカ貿易保険機構（ATIDI）は、ブゲセラ新空港建設（総工費20億米ドル超）の資金調達のために当国銀行が発行する債券や保証、約3億2千万米ドルに対し、8,400万米ドルの再保証を承認。
- アフ開銀は、電力の近代化やクリーンエネルギーへのアクセス改善等を目的とした「エネルギー・セクター成果連動型融資プログラム」に対し、約1億7300万ユーロの融資を承認。
- 世銀グループは、金融及びデジタル分野開発のための、約1,700万米ドルの拝見を発行。

## **2. 経済**

- 2024会計年度において、税収目標額3,041.2億RwFに対し、101.3%の3,079.8億RwFを達成（前年度比16.7%増加）。2025会計年度の税収目標額は、3,628億RwF（国家予算7,032.5億RwFの53%相当）。